

ICT夢コンテスト 実践事例応募用紙

※この応募フォーマットはホームページよりダウンロードしてください。

| | | | | |
|---|---|--------------|---------|---------------|
| この実践事例は下の要素の何々を含んでいますか。該当する項目の左に ● を記入してください。複数選択可です。 | | | | |
| 効果的な授業 | ● | 児童生徒の資質・能力向上 | 教員研修 | ● |
| 校務の情報化 | | 保護者や地域への情報発信 | ICT環境整備 | ● |
| ICT活用推進 | | 学校運営・管理 | ● | 保護者や地域による学校支援 |
| 学校行事 | | その他 () | | 地域での児童生徒学習支援 |

| | | | | |
|----------------|-------------------------|--------|----------------------------|----|
| 学校又は団体名 | 東京都渋谷区立中幡小学校 PTA | | | |
| 団体種 (校種、NPO 等) | PTA | | | |
| 応募者氏名 (漢字) | 田口紀子・長尾あゆみ・松田いづみ | 応募者 職名 | 中幡小学校 PTA | |
| 応募者氏名 (カタカナ) | タナカ ノリコ・ナガオ アユミ・マツダ イズミ | | | |
| 学校や団体への所属年数 | 6 | 年 | ICT夢コンテストの 応募回数 (今回を含む) | 1 |
| | | | | 回目 |

| | | | | |
|-----------------------------|--|---|-------------|-----|
| 実践事例タイトル (30 文字以内・サブタイトル無し) | 「未来を作るチャレンジ」ICTを活用したPTA 時短化計画 | | | |
| 教科もしくは分野 | PTA 活動、プログラミング教育 | 教科の単元がわかる場合 (複数可) | | |
| 対象者 (学年・他) | 小学校全学年、保護者 | | | |
| 実践場所 (PC 教室、体育館等) | 小学校ランチルーム、PTA 会議室、各家庭 | 実践時期 | 2018 年 4 月～ | |
| 活用した ICT 機器、教材、環境等 | WindowsPC、スマートフォン、Google ドライブ、Slack、 Google フォーム、プログラミングゼミ など | 実践の特長 (先進性、普及性) をどちらか一つ選択 ※該当する項目の左に●を記入 | ● | 先進性 |
| | | | | 普及性 |

アンケートをお願いします。

コンテスト企画運営の参考にさせていただきます。番号を「番号記入欄」に記入してください。複数記入可です。

(問) 本コンテストをどのようにお知りになりましたか。

(回答群)

- ①案内ポスター ②案内チラシ ③事務局メール ④新聞広告より ⑤他のニュース媒体から ⑥前から知っている
⑦教育委員会からの紹介 ⑧上司や友人・所属団体からの紹介 ⑨ J A P E T & C E C ホームページより

番号記入欄

②

*連絡先住所は、事務局からの郵送物を受け取れる住所をご記述下さい。また、応募者 E-mail 及び応募者電話番号は、事務局から連絡を取らせていただけるものをご記述下さい。

- ・ 1 頁目表紙 (応募者情報) のフォーマットの変更は、ご遠慮下さい。
- ・ 応募事例の図や写真データの組み込みは自由です。参照 URL は不可です。
- ・ 表紙記述 1 頁と実践事例内容記述 2 頁以内、計 3 頁以内で纏めてください。それ以上は受け付けられません。

各項目のフォントはMS明朝 11ポイントで記述して下さい。46文字/行、(1)～(3)項目の記述配分は自由です。

実践の概要（実践内容を5行以内で簡潔にまとめる）

中幡小学校 PTA では、平成 30 年度から ICT を積極的に活用し、「忙しい保護者でも気軽に参加できる PTA」を目指して、PTA 業務の改善と効率化を行っています。Google ドライブを使い、データはクラウド上で共有、連絡には専用 SNS「Slack」を採用するなど、「PTA 活動時短術」のモデルケースとなるべく工夫を凝らしています。さらに、今夏には PTA 発の「プログラミング体験教室」を開催。今後は、保護者が自分の得意分野を生かし、子ども達の学びにつながるイベント開催を予定しています。

(1) ICT活用の目的とねらい

1. 時短と効率化をめざし、忙しい保護者でも参加しやすい PTA を作る

近年、PTA 活動に対して消極的な保護者が増え、特に業務の多い総務部に参加する人が激減しています。その最たる理由である「PTA 業務の多さ」を解消すべく、ICT を活用した効率術・時短術を目指すことにしました。仕事や家庭で忙しい保護者が限られた時間を無駄に使わずに済むよう、Google ドライブと専用 SNS の Slack、Google フォーム等を使い、「学校に行かなくても、家庭で空き時間に作業ができること」、「打ち合わせなどの記録を、いつでもどこからでも参照できるようにすること」の2つを実現させました。

2. 親子向け「プログラミング体験教室」を開催する

さらに 2020 年からの次期学習指導要領に向けて、夏休みに小学校協力のもと、PTA 主催の「親子向けプログラミング体験教室」を開催しました。渋谷区では、平成 29 年 9 月より区内の小中学校に 1 人 1 台の Windows タブレットが貸与されましたが、利用頻度は学年やクラスによってばらつきがあり、まだ十分に活用しきれていないという現状があります。そこで「親子向けプログラミング体験教室」を行い、夏休み中に家庭で Windows タブレットを活用する方法を提案させていただきました。



※写真：PTA 主催「プログラミング体験教室」（2018 年 7 月 23 日 中幡小学校ランチルームにて開催）

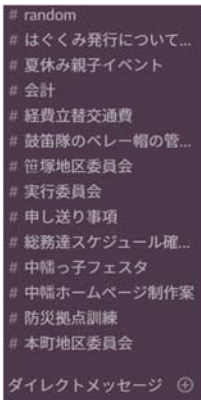
3. システム委員を発足し、PTA 活動の一事例として他校へ紹介する

今夏に PTA の有志が集い「システム委員」を発足しました。システム委員の目的は、中幡小 PTA ホームページの作成のほか、PTA 業務のさらなる効率化に向けての ICT 活用の研究です。また、平成 30 年度での結果や成果をまとめて、渋谷区教育委員会に提出し、現在の PTA 活動の改革を試みている他校に向けて、ひとつのモデルケースとして中幡小 PTA の ICT 活用事例を紹介していきたいと思えます。

(2) 実践の特長・工夫（先進性があるか または普及性があるか）

PTA 活動における ICT 活用でもっとも重要なことは、導入・活用共に簡単であることです。PTA では様々な背景をもった保護者が参加しており、その活動可能時間、ICT に関する知識、所有する端末も異なっています。そのためにも、「誰でもわかりやすく」「すぐに使える」方法で行う必要があります。今回、PTA 業務のツールとして採用した「Google ドライブ」（データ共有）、「Slack」（PTA 間の連絡）、「Google フォーム」（アンケート集計用）は無料なうえ、パソコンだけでなくスマートフォンでも使用でき、使い

方がわかりやすいという点から選出しました。



Slack の利点

- ・プライベート SNS のため、安全性が高い
- ・複数のチャンネルが作成できるため、活動ごとにチャンネルを設定できる
- ・チャンネルごとに参加するメンバーを指定できる
- ・画像や書類などのファイルを添付できる
- ・パソコンだけでなく、スマホの専用アプリがあり、使用環境を選ばない

今後も継続的に活用できる方法として、毎年交代する PTA 総務のメンバーのために今回の活用方法をマニュアルとして作成し、来年度への引継ぎを行います。

(3) 実践の成果 (子どもたちや教員はどう変わったか、絆の深まりは見られたか等)

成果 1 : PTA 総務部における、PTA 業務の時短化と効率化の実現

平成 30 年度の中幡小 PTA のスローガンは「つながる、ひろがる、未来をつくる ~チャレンジ! 中幡 PTA~」です。PTA 総務部にアンケート調査を行ったところ、以下のような意見が出ました。

●Google ドライブのデータ共有について

- ・学校に出向かず、自分の都合の時間で作業が出来るのは、有職者にとって、とても助かります。

●SNS「Slack」を使った連絡方法について

- ・最初は使い方がわからず戸惑いましたが慣れると見逃しがなく便利です。
- ・議題事に投稿出来るので、Web 会議として重宝しています。
- ・チャンネルでテーマを分けられ、書いた後に編集できるのも便利。画像やファイルのアップも簡単。

成果 2 : 「プログラミング体験教室」による、子どもと保護者への新しい経験

■「プログラミング体験教室」の参加者 児童 47 人、保護者 17 人 ※全校生徒の約 1/6

■参加した保護者からの意見 (アンケート)

- ・プログラミングを体験する良い機会だと思った。
- ・簡単なアプリの操作で低学年の慣れていない子にも使うことができ良かった。
- ・物事を順序だてて考えるようになるためにもいい。子どもも楽しそうだった。



従来の PTA 活動では、例年と同じ内容をこなす事が重視され、なかなか新しい方法や試みは取り入れづらい傾向にあります。「とりあえず、やってみよう」の精神で新しいことにチャレンジをするという試みを続け、ICT を活用することで、スローガンにあるように「子どもと保護者、そして学校、地域をつなげる」「様々なイベントを通じて世界を広げる」「これからの未来を担う子ども達を応援する」挑戦を続けてきたいと思います。



つながる、ひろがる、未来をつくる

~チャレンジ! 中幡 PTA~